

2013年12月

自治体GIS と オープンデータ

IGコラボレーションLLP
玉置三紀夫

今日のお題

1. はじめに
2. 趣旨説明
3. 閑話休題
4. 課題
5. 要望
6. まとめ



本日は
宜しくお願いします

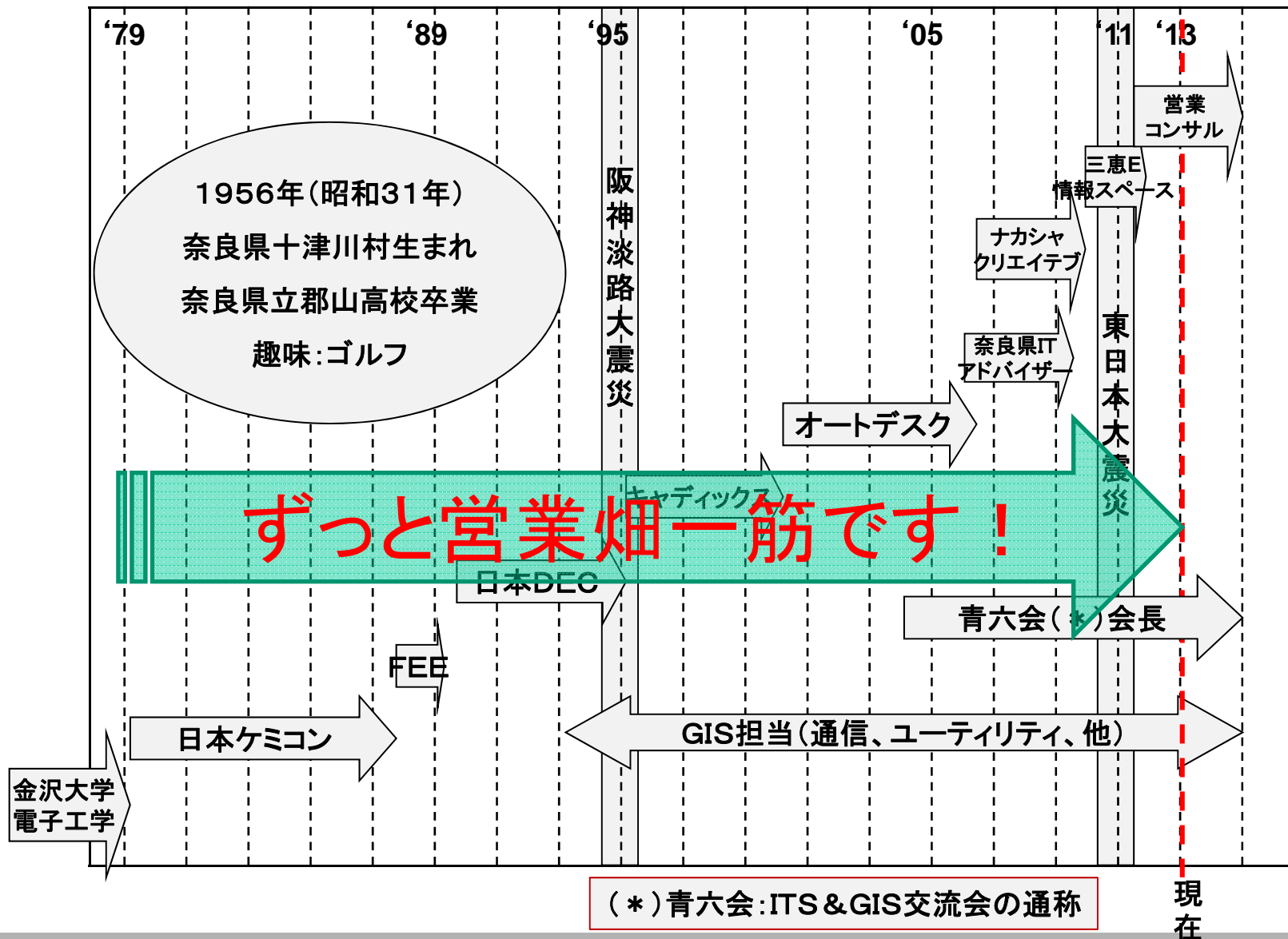
1. はじめに(最近の話題)

【**政府がアプリコンテスト**を初めて開催！！！！】

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20131129/k10013446231003.html>

『総務省は、政府や自治体などが保有するデータを誰もが自由に利用できる形で公開する「オープンデータ」を進めるため、こうしたデータを使ったアプリケーションのコンテストを初めて開くことになり、2014年2月に作品を募集することになりました。2月3日から17日まで作品を募集します。そして、3月13日に表彰式を行い、最優秀賞には30万円分の商品券、優秀賞には20万円分の商品券などの賞品が贈られます。』

1. はじめに(自己紹介)



3. 趣旨説明(その1)

自治体が保有している情報のオープン化が急速に注目を浴びています。政府からも前向きなメッセージが出されるようになりました。税金で収集もしくは構築した情報を納税者に開放するのは自然な流れだと思います。

今日のテーマは自治体GISとオープンデータとなっていますが、自治体が保有する**位置(G空間)情報こそオープン化の最有力候補**だと思います。



3. 趣旨説明(その2)

しかしながら、過去を振り返ってみますと、**似たような社会現象**があり、それらが良い結果を残したとは必ずしも言えません。

例) **Web2.0、ユビキタス、統合型GIS、...**

⇒多くは、時代の彼方に消えていきました

⇒こういうスローガンが出てくる時はIT業界が不況の時で、好況に転じると置き去りにされる傾向にあるからです



3. 趣旨説明(その3)

オープンデータ化の流れも油断大敵です。悪しき事例にならないようにするためにはオープンデータを利用した取り組みが、利潤を産み、更には拡大再生産可能な**ビジネスとして成立する**ことが重要です。



3. 趣旨説明(その4)

ところが、最近の**コンテンツビジネス**はデフレ時代の影響もあって、表向き**低価格化**もしくは**無料化**しています。消費者の目は肥え、簡単にはお金を払わない傾向にあります。



3. 趣旨説明(その5)

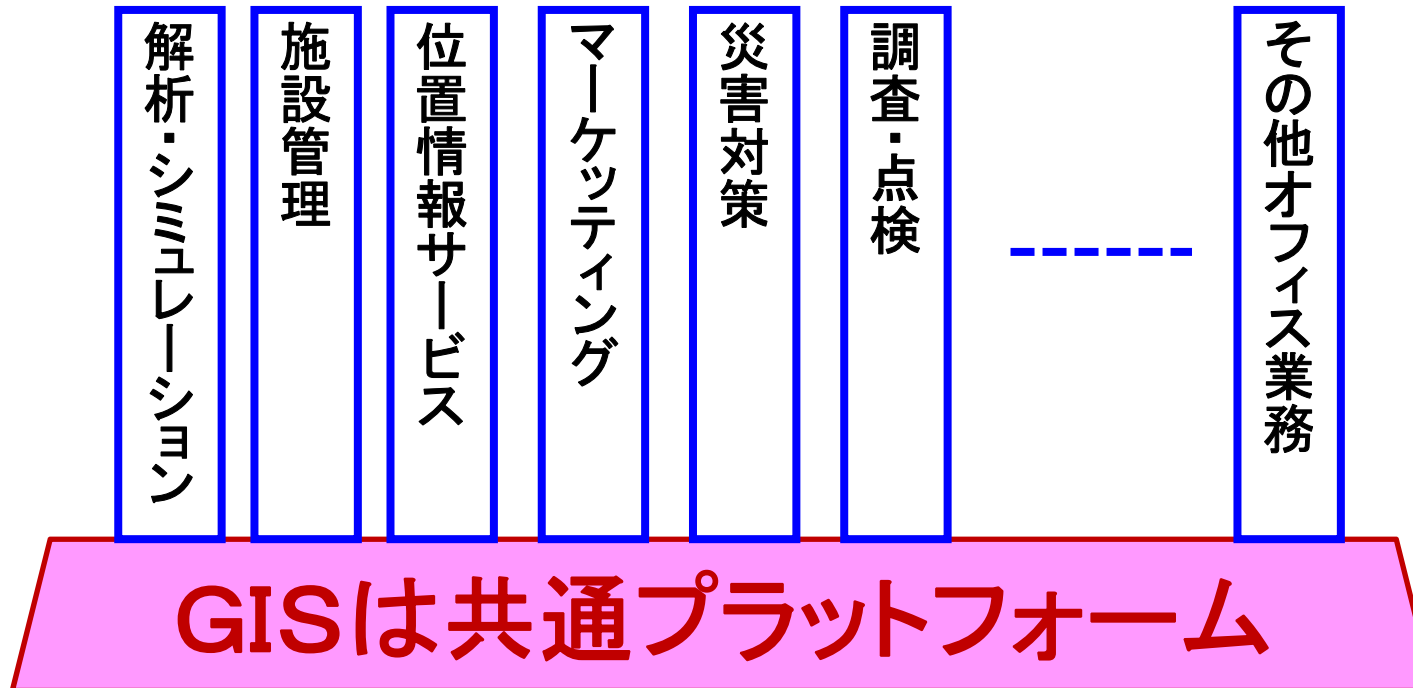
そこで考えなければならないのは**売れるコンテンツ**は何か？という事です。それは**簡単には入手できないもの**です。

それは、自治体の中で言えば**GIS系の情報**に多く含まれています。



3. 閑話休題(その1)

GISの定義(1)



3. 閑話休題(その2)

GISの定義(2)

GISは共通プラットフォーム

初期データ投入

竣工データ更新

測量

画像撮影

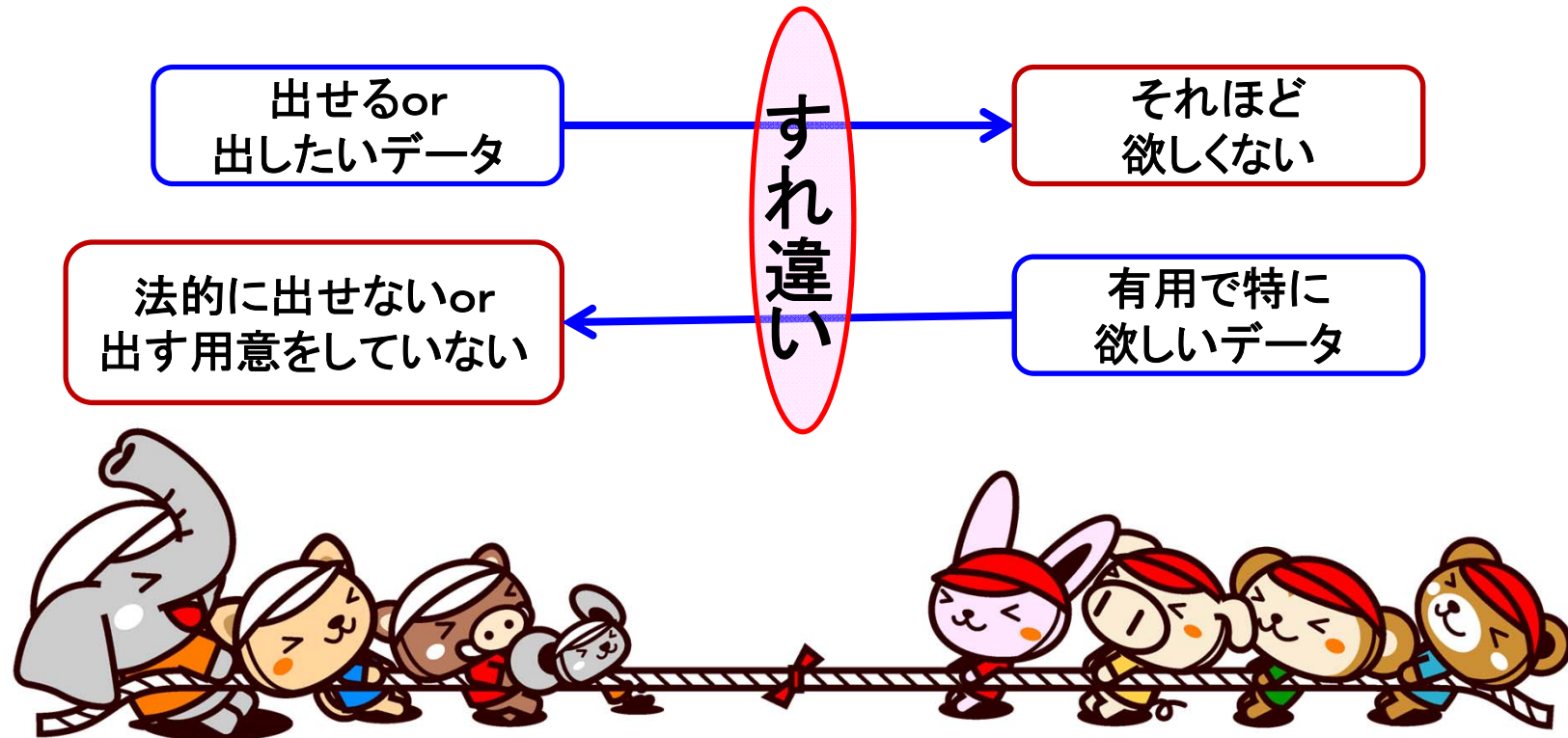
地図制作

POI調査

その他オープンデータ

4. 課題(その1)

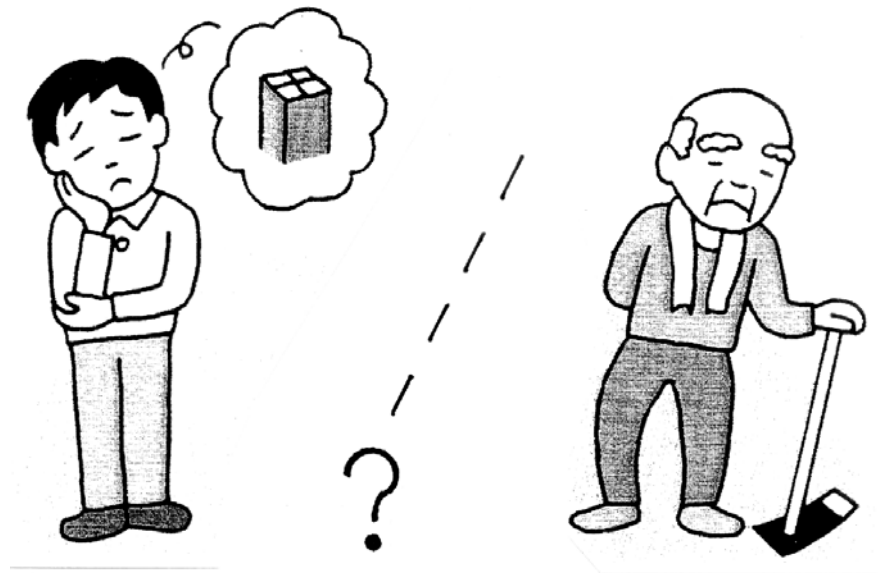
1) 自治体の思惑と企業のそれがすれ違っていかないか



4. 課題(その2)

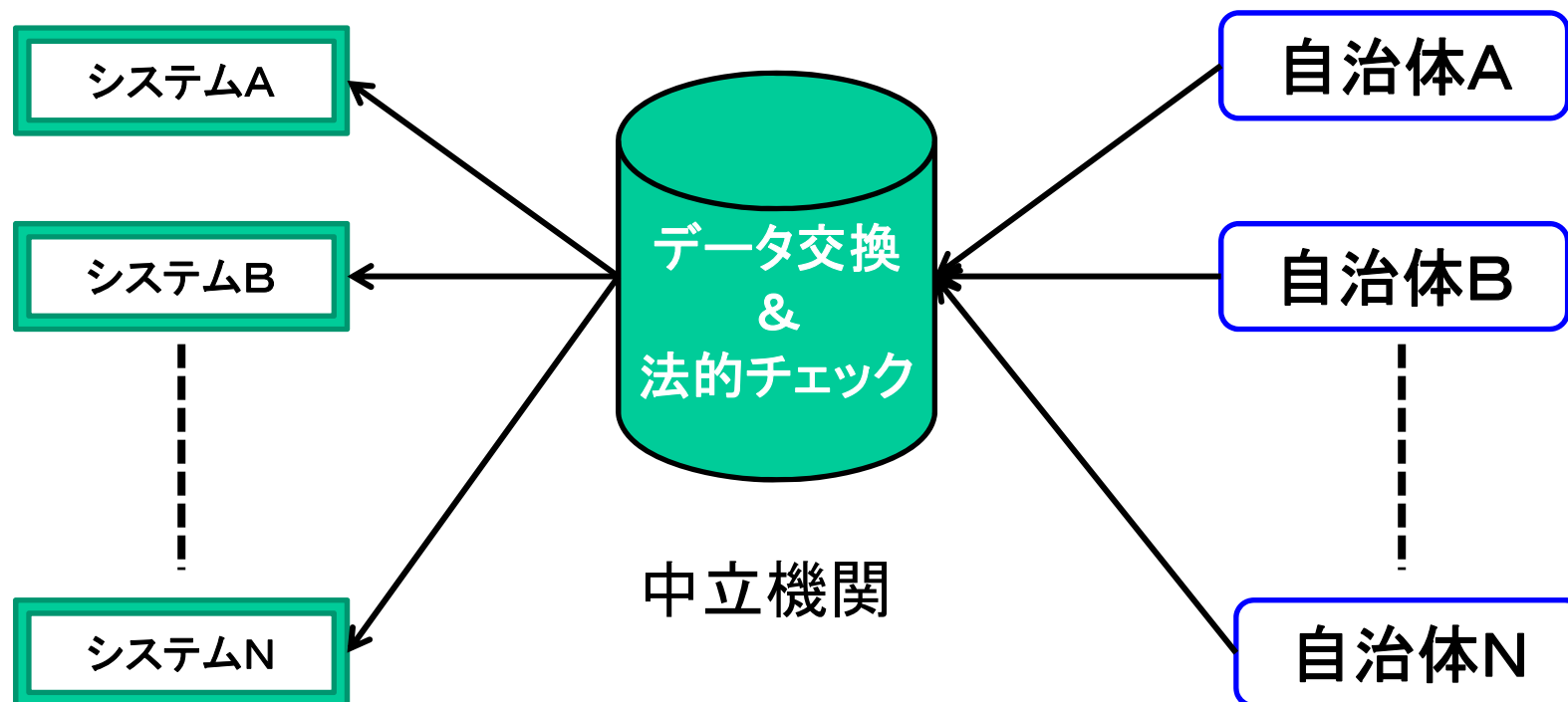
1) オープンデータを利用した商売は

- ・費用対効果が算出しにくい
- ・法律や条例が前面に出てきて面倒臭い
- ・いつまで継続するか保証がない



5. 要望(その1)

1) データ流通を円滑にする中立機関の設立



5. 要望(その2)

1) オープンデータを利用した場合のインセンティブ

- ・公募条件への組み込み
- ・事例とし公開することへの許可



5. 要望(その3)

1) 公開希望データ

- ・各種申請(建築、開発、など)情報
- ・リアルタイム(災害、交通、祭事、など)情報
- ・道路関連情報(開通、工事、など)

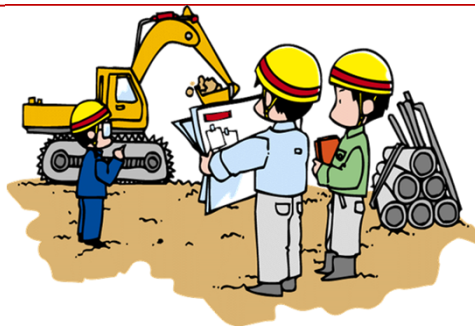


本当は
位置情報付き
個人情報が
一番欲しいが...

6. まとめ(その1)

1) オープンデータ化されれば売れそうな相手

- ・道路関係⇒ナビ地図、配送関係、
- ・宅地開発や建築申請など⇒電力、ガス、通信、ゼネコン、建コン、不動産、測量、工務店
- ・医療福祉関係⇒ナビ地図、製薬会社、医療機器
- ・電子納品や工事発注見通し⇒SIer、ゼネコン、測量、営業コンサル、建コン、



6. まとめ(その2)

1) 営業としては

- ・ **継続**的な取引が見込める
- ・ 市場規模 **拡大**が見込まれる

そんな **苦勞が報われる** 案件が欲しい



6. まとめ(その3)

1) オープンデータが普及については

- ・一過性のブームで終わらせてほしくない
- ・産官学、皆が参加する意味のある活動にしたい
- ・何よりも、困っている人の役に立って欲しい



最後まで
お付き合いいただき、
有難うございました